

第6回誰もが共に生きる埼玉をつくる学習会

誰もが共に生きる社会のための教育 — 排外主義を超えて

参加
無料

2020年

7月9日 @オンライン
thu 18:25~ 開場 18:00

主催 誰もが共に生きる埼玉を目指し、埼玉朝鮮学校への補助金支給を求める有志の会
<https://tomoni-saitama-koreanschool.org/>

近年、ますます多くの外国人が日本で働き、日本社会を支えています。それにともなって、外国にルーツをもつ子どもも増えました。しかし驚くべきことに、日本の教育制度では外国籍の子どもには就学義務（国や保護者が子どもを学校に通わせる義務）がありません。

国は外国人児童生徒の増加にともなう対策として日本語教育の整備を前面に押し出していますが、同時に、子どもたちの母語・母文化の継承にも配慮することが必要です。慣れ親しんだ言語や文化の教育を望む子どもや保護者は外国人学校を選択することができますが、法制度上「各種学校」であることが多い外国人学

校にはさまざまな制限がかけられることがあります。幼児教育・保育の無償化（幼保無償化）政策では、各種学校の幼稚園は除外されてしまいました。

外国にルーツをもつ子どもたちは、そもそも教育の機会が十分に保障されていないうえに、その後も学習の権利が侵害されているのです。今後いっそうの国際化が進むことが予想される一方、新型コロナウイルス感染症をめぐる状況でも見られたように、排外主義的言説があとを絶たない日本社会で、差別のない、真の多様性が生かされる、あるべき教育制度とはなにかを考えるための学習会を開催します。

講師 小島祥美（愛知淑徳大学文化交流学部教授）

学校教員、NGO 職員を経て、岐阜県可児市の全外国籍の子どもの就学実態を明らかにした研究成果により、同市教育委員会の初代外国人児童生徒コーディネーターに抜擢。地域連携を推進するセンター（CCC）開設に伴って愛知淑徳大学に着任し、2020年度より現職。文部科学省「夜間中学設置推進・充実協議会」委員、部科学省「日本語指導アドバイザーボード」日本語指導アドバイザー。2015年に長男を出産し、外国にルーツを持つ子どもの保護者らと地域で交流しながら子育て中。



プログラム

- 18:00 受付開始
- 18:25 開会
- 18:30 講演
- 20:10 フリートーク（参加自由）

お申込み

<https://bit.ly/2Y4rSXT>

お申し込みいただいた方に、Zoom のミーティング ID をメールでお知らせします。

（お問合せ tomoni.saitama.koreanschool@gmail.com）



学習会について

日本には在日朝鮮人の子どもたちが通う数多くの朝鮮学校があります。朝鮮学校は日本の敗戦後、在日朝鮮人がみずからの言葉や文化を取り戻すために、自主的に設立した学校です。自治体によっては他の民族学校へは補助金を支給しているにもかかわらず、朝鮮学校だけがその対象外になっているケースがあります。

埼玉県にも、埼玉朝鮮初中級学校があり、200人を超える子どもたちが、民族の歴史や文化、言語を学んでいます。埼玉県がこの学校への補助金を打ち切って10年になります。わたしたちは埼玉朝鮮初中級学校に通う子どもたちが、日本の学校や他の民族学校の児童生徒たちと平等に教育を受けられるように、埼玉県へ補助金再開を働きかけながら、現状を多くのひとびとと考えるために、学習会を開催しています。

会の趣旨に沿わない方の参加を固くお断りします。また会の進行を妨害したり、許可なく無断で録音・撮影や配信行為等が行われた場合（恐れのある場合含む）は、主催者判断により、退出措置をとり、場合によっては法的措置をとります。